

「日本人」であることとメディア

～日本人らしさを再確認するとき、

日本人であることを誇りに思うとき～

受講料

無料(事前登録制)

会場

24号館2階 24202教室

定員

200名

対象

一般
(社会人・卒業生・教職員・学生)の方

9/13(土)

10:00～11:30

1

日本ネタ番組の視聴と 日本人意識

日本や日本人を主要なテーマとして扱う番組(日本ネタ番組)にはどのような特徴がみられるのか。また、その視聴は日本人意識とどう関係しているのか。調査データから検討する。

13:00～14:30

2

天皇の退位・即位と 日本人意識・コスモポリタニズム意識

平成から令和への改元時に行われた天皇の退位・即位関連の儀式・行事をテレビで見た人はどのような人たちなのか。日本人意識やコスモポリタニズム意識との関連から検討する。

【申込期限】9/13開催分: 9/9(火)

9/27(土)

10:00～11:30

3

FIFAワールドカップ2022における 日本人らしい行動の意味

FIFAワールドカップ2022で称賛された日本代表チームによるロッカールームの清掃と整理整頓は、日本人の誇りを高めたか。日本代表の戦績に対する評価は日本人の誇りに影響したか。以上を調査データから明らかにする。

13:00～14:30

4

2023WBCを日本人は どう受け止めたのか

日本中を熱狂の渦に巻き込んだ2023WBCはどう視聴されたのか。また、その後の野球人気や日本代表に対する考え方にどのような影響をもたらしたのか。調査データから読み解いていく。

【申込期限】9/27開催分: 9/23(火)

↑※各回ごとにお申込みください↑



Tokyo Woman's Christian University

東京女子大学

後援: 杉並区教育委員会
武蔵野市教育委員会
株式会社 勤草書房

申込方法

受付開始日
7/7～

詳細・お申込みは
こちらから↓→



<https://www.twcu.ac.jp/main/event/2025/kakitokubetukouza2025.html>

講座紹介

自分が何人であるか(たとえば、日本人であること)をふだんから意識している人はあまりいないのではないか。しかし、あるテレビ番組のインタビューで、日本を訪れる外国人観光客が「日本人のここが好き」「日本のこういうところは偉大である」と答えるのを見て、日本人や日本のすばらしさを改めて認識することもあるだろう。テレビやネットのニュースで大谷翔平選手の大リーグでの偉業ともいわれる記録樹立を知り、同じ日本人であることを誇りに思った人もいるだろう。

本講座では、「日本人らしさを再確認するとき」と「日本人であることを誇りに思うとき」に人々がいかにメディアを利用し、またメディアから影響を受けているのか、社会心理学の視点から行った各種調査結果を紹介しながら講義する。

講師紹介

講師陣の共著書 『「日本人」であることとメディア』
が受講者限定価格で購入できます。
詳細は、申込ページをご覧ください。

第1回

志岐 裕子 研究員

慶應義塾大学

メディア・コミュニケーション研究所

■経歴

慶應義塾大学大学院社会学研究科後期博士課程単位取得退学

■現在の研究・関心

メディア・オーディエンス研究
(特にテレビ)

■主な著書

『「日本人」であることとメディア』(共著、勁草書房、2025年)、『クリティカル・オーディエンス—メディア批判の社会心理学』(共著、新曜社、2023年)、『メディア・オーディエンスの社会心理学 改訂版』(共著、新曜社、2021年)など。

第2・3回

有馬 明恵 教授

本学 現代教養学部

社会コミュニケーション学科

■経歴

慶應義塾大学大学院社会学研究科博士課程単位取得満期退学、博士(社会学)

■現在の研究・関心

メディア利用と日本人意識、SNSとジェンダー、広告と健康

■主な著書

『「日本人」であることとメディア』(共著、勁草書房、2025年)、『ジェンダーで学ぶメディア論』(共著、世界思想社、2023年)、『内容分析の方法[第2版]』(ナカニシヤ出版、2021年)、『テレビと外国イメージ—メディア・ステレオタイプ研究』(共著、勁草書房、2004年)など。

第4回

山下 玲子 教授

東京経済大学

コミュニケーション学部

■経歴

一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程単位取得退学

■現在の研究・関心

メディア、特にテレビ番組、インターネット動画、広告が人々に及ぼす影響

■主な著書

『「日本人」であることとメディア』(共著、勁草書房、2025年)、『スマホでYouTubeにハマるを科学する』(共著、日経BP社、2023年)など。

交通アクセス

■西荻窪駅

- ・北口より徒歩12分
- ・北口(1番のりば)より吉祥寺行バスで「東京女子大前」下車

■吉祥寺駅

- ・北口(3番のりば)より西荻窪駅行バスまたは上石神井駅行バスで「東京女子大前」下車

問い合わせ先

東京女子大学 教育研究支援課

E-mail:koukaikouza@gr.twcu.ac.jp

TEL:03-5382-6470

月～金(祝日を除く) 9:00～11:25、12:25～17:00

閉室日:土・日、祝日、8月7日(木)～20日(水)

